

高齢者と若者のつながりなどを話し合う



8月28日に恵那文化センターで、市民のための認知症予防シンポジウムを開催。討論会では、高齢者の話を若者にも聞いてもらうことや人のつながりを強めるには地域の行事を大切にすることなどが話し合われました。

串原で地域の足について学んだ



9月3日にサンホールくしはらで、公共交通シンポジウムを開催。名古屋大学大学院准教授の加藤博和氏は、地域の公共交通を良くするには、地域住民が自ら考えることやみんなが連携することの重要性を語りました。

いわむら城址薪能で味わう伝統芸能の醍醐味



第27回いわむら城址薪能が、天候不良のため、恵那特別支援学校体育館で8月27日に開催。約400人の観客は、重要無形文化財総合指定保持者が演じる、能「橋辨慶」や狂言など、日本の伝統芸能の醍醐味を味わいました。

中山太鼓が愛知学院大学吹奏楽団と競演



サンホールくしはらで8月28日、愛知学院大学吹奏楽団と中山太鼓保存会少年部のふれあいコンサートが行われました。子どもたちは、楽器を体験したり楽団員と中山太鼓の代表曲「神ばやし」を打ち鳴らしたりしました。



人とまち
恵那の今を
お届けします



山岡保育園の園児94人が、岩村町の豊楽園で9月6日にブドウ狩りを行いました。豊楽園の方が「たくさん食べてね」と話し掛けると、園児たちは「早く食べたいね」と互いに顔を見合わせニコニコ。ブドウの種類は、緑色をしたナイヤガラと赤紫色のレッドニアガラ。園児らは先生から取り分けてもらい、おいしいブドウに舌鼓を打ちました。爽やかな秋風の中、秋の味覚をおなかいっぱい楽しみました。

ブドウ狩りで秋の味覚に舌鼓

募集中

11月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく1人で胸から上で顔全体が写っているもの)の裏に住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、両親の氏名、30字以内のコメントを添えて、10月17日(月)までに申し込んでください。またケーブルテレビ放映の可否についてもご記入ください。申し込み多数の場合は先着順により掲載します。

□申し込み・問い合わせ
〒509-7292(住所不要)
企画課広報広聴係
☎26-2111(内線319)

1歳おめでとう!! 煌介はパパとママの宝物です。大好き♡チュウ♡

大井町

1歳おめでとう!! 癒やしてね! 生まれてから家族みんなを癒やしてね!

武並町

1歳おめでとう!! 大好き!! 元気な男の子に育ってね!

長島町

1歳おめでとう!! 大好き!! 元気な男の子に育ってね!

長島町

1歳おめでとう!! 好奇心いっぱい元気な男の子に育ってね!

大井町

1歳おめでとう!! 元気がいっぱい! 斗麻スマイルでみんなを笑顔にさせてね!

岩村町

1歳おめでとう!! お姉ちゃんと仲良く元気に育ってほしい!!

岩村町

1歳おめでとう!! 琉生は大事な宝物だよ! いつまでも輝いていてね!

長島町

1歳おめでとう!! 愛おしい笑顔が大好き!! 元気な笑顔が大好き!!

大井町

1歳おめでとう!! 元気な男の子に育ってね!!

大井町

1歳おめでとう!! 元気な男の子に育ってね!!

大井町

1歳おめでとう!! 元気がいっぱい! 斗麻スマイルでみんなを笑顔にさせてね!

大井町

HAPPY BIRTHDAY
えなの子 笑顔!
10月生まれのお誕生日
おめでとう!

1歳になりました



とくだ やすし
樋田 康さん 77歳

輝く 84
恵那人

笠置町姫栗

HUMAN WATCH



百年祭へ向け恵那峡の歌を作詞 恵那を全国へ宣伝したい

大正百年祭の次は、恵那峡百年祭。これに先駆け、プロの歌手が歌う恵那峡の歌を作詞した樋田康さん。作詞した歌は、恵那峡や福沢桃介の物語を語る「恵那峡情話」、恵那峡を紹介する「恵那峡観光音頭」など。

恵那峡は、木曾川の急流をせき止めて造った大井ダムにより出来た人工の湖。地理学者志賀重昂が命名した。大井ダムは、大阪へ電力を供給するため、電力王の福沢桃介(福沢諭吉の娘婿)が、日本初の発電用ダムとして1924(大正13)年に建設した。ダム百選にも選ばれ、2007(平成9)年には、近代化産業遺産に認定。80年以上たった現在も最大約8万瓩もの電力を供給し続ける。

樋田さんは、市観光協会笠置支部長を務めていることから、かつては年間100万人以上の観光客が訪れていた恵那峡の衰退を懸念。「活性化できれば」と歌詞を書いた。歌詞には、恵那峡や大井ダムがで

きた歴史が書かれている。樋田さんは「なぜ、どのようにしてできたかを皆さんに知ってほしい」と話す。作曲は宮川つとむさん。樋田さんと年賀状のやり取りのある作曲家。大井ダムの歴史的意義や桃介と貞奴の逸話に感動し協力してくれた。

樋田さんは、恵那先史文化研究会の役員も務める。研究会でいろんなまちへ出掛け「観光に力を入れていくまちでは活力を感じる」「歴史がある恵那峡は、絵や文ではなく歌で紹介すれば、共感してもらえるのでは」と考えるようになった。

樋田さんの持論は「観光は宣伝力」。歌って、聞いてもらえれば宣伝になるのでは」と考えた。「大勢の観光客に訪れてもらうために、恵那を全国へ宣伝したい。まちじゅうが互いに力を合わせ観光客を増やしていけたら」と、恵那峡のにぎわいを取り戻し、まちの活性化を願う。曲の振り付けも完成。大勢で歌って踊る恵那峡百年祭が待ち遠しい。

※桃介と貞奴の逸話=大井ダム工事は難工事。犠牲者が出て作業員の士気が下がったある日、桃介は兩岸に渡したワイヤーからロープ1本でつるしたかごに乗り千尋の谷へ降りた。これに日本初の女優川上貞奴も同行したことから、現場の士気が回復。

園庭の野菜を具にピザを手作り



飯地保育園で9月6日、園児14人がピザ作りに挑戦。園児らが、園庭の畑で収穫したジャガ芋や玉ネギ、ピーマンなどを具にしたピザを手作り。園児たちは、こんがり焼けたおいしそうなピザにかじりつきました。

競技かるたの基礎や戦い方を練習



競技かるた育成指導教室が、9月3日に恵那文化センターで開催。県かるた協会の指導で、自陣の札を相手に取らせないように並べ、相手陣の札を取るための基礎や払い手、つき手、押さえ手などの取り方を練習しました。

昔の遊びで子どもと楽しく触れ合う



NPO法人こぎつねくんわーどらの主催で、昔を振り返ろうと、9月9日、茅の宿とみだで昔の遊びや五平餅作りを開催。参加した親子27人は、ゴム跳びなどで楽しく触れ合った後、五平餅をおいしくいただきました。

明知鉄道で「えなハヤシ御膳」がお披露目



9月8日に明知鉄道で、えなハヤシ列車が初めて運行。初めにテーブルに並んだのは、市内の飲食店らが考えた「えなハヤシ御膳」。次に、あつあつのハヤシライスを食べ「懐かしい味」「肉が柔らかい」などと大好評でした。

長島小で放水体験などを通じて防災を学ぶ



長島小学校で9月16日に、地域防災スクールモデル事業が行われ、5年生83人が参加。児童らは地震体験車で最大震度7の揺れを体験したり、市消防団長島分団の指導で実際に消火時に使うホースで放水したりしました。

連合演習では消防団が連携して消火訓練



9月11日、市内5カ所で消防団ブロック別連合演習を開催。火災を想定し、ブロックごとに訓練場所や時間、内容などを計画。器具操作の経験のない団員も、先輩の指導で操作を行い無事火点へ放水できました。